

平成 28 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市木田暮らしの学校	
指定管理者	名称	木田地区振興協議会
	代表者	会長 今田 泰
	住所	浜田市旭町木田 485 番地
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業報告書、指定管理者へのヒアリングにより把握しました。</p> <p>その後、事業計画書に示された項目ごとに、具体的な業務の履行状況等について現地調査等により別途モニタリングチェックシートを用いて確認した上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を掲載しました。</p>	
担当部署 (問合せ先)	部署名	旭支所 産業建設課 産業振興係
	電話番号	0855-45-1437
	E-mail	a-sangyou@city.hamada.lg.jp

■ モニタリングの総合コメント

木田暮らしの学校は、歴史的価値の高い木造施設を都市農村交流拠点施設として活用し、地域の活性化が図られることを目的に整備された施設です。

平成 28 年度から指定管理者制度を導入し、木田地区振興協議会を指定管理者に指名し、管理運営を行っています。

関係法令、基本協定書等の規定に基づき適正に管理運営され、施設の設置目的に沿った成果を得るよう努力しています。季節に応じた体験イベントの開催、米の栽培と販売、カフェのオープンなど、積極的に自主事業を展開し、適正な施設運営に努めています。

施設の管理については、日常的な管理・清掃に加え、地域自治会等の協力を得て、周辺の草刈、窓ガラス清掃等を行っています。貸室については、PR や企画提案の不足により、稼働状況が十分でないことが確認できました。

毎月の役員会、全体会において、諸問題を解決するための方策を模索しています。様々な課題が散見されるも、一年目の指定管理としての努力が窺え、総合的に判断し「良好」であったと評価します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

8 月から 11 月までカフェをオープンしましたが、認知不足のため来客数が伸びていません。施設の貸出については、20 件・延べ 295 人の利用がありましたが、稼働状況は十分とはいえない状況です。

殆どの来館者が、施設やイベントに対して大きな満足を得られていることを鑑みると、PR により利用が大きく伸びる可能性があると考えます。今後は利用促進のために整備したパンフレットを有効に活用し PR に努めるとともに、ホームページやフェイスブックを利用して、施設の活用事例や企画案などを情報提供していくことも必要と考えます。

■個別評価

I 基本的な考え方
① 目的、公平性、効果等への所見
<p>木田地区振興協議会は、木田地区における都市農村共生・対流による地域活性化を図ることを目的として設立されており、地区まちづくり推進委員会、木田小学校後利用検討委員会、旭温泉ふるさと伝授道場、旭温泉旅館組合などの地元委員に加え、旭支所防災自治課及び産業建設課も会員として構成されています。</p> <p>当施設の地域との結びつきについて精通しており、施設の管理運営に効率的であると考えます。</p>
II 業務内容
① 事業への具体的取り組み方について
<p>「この施設を地域で守るために自力で稼ぐ」ことをモットーとして、「儲ける」ために試行錯誤していることが窺えます。そのためにも「暮らしの学校 1000 人のファンづくり」を目指していますが、ファンとなっていただくための目玉が確立しておらず、取組みが進んでいない状況です。</p> <p>イベントなどの自主事業は積極的に開催していますが、採算が取れていません。参加者などからの好評価を得ているイベントですので、採算を取りつつ継続していくことを望みます。</p>
② 施設の運営体制や組織について
<p>地域おこし協力隊 1 人が常駐し、通常の維持管理、貸出業務を行いました。また「楽しむ」・「儲ける」・「守り伝える」の 3 部会で構成し、それぞれが企画立案し、事業開催時等には協議会構成員 18 人で運営しました。各部会がそれぞれの目的達成のために計画を立て、協議会全体で取り組むというやり方で効率的に運営されていると考えます。</p>
③ 適切な事務や経理について
<p>施設の利用に関する事務については、条例等に沿って適正に処理されています。</p> <p>経理事務については、担当者により適正に処理され、会計報告されています。</p>
④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について
<p>危機管理マニュアルが整備されており、施設・設備の保守点検も適正に実施されています。</p> <p>また、個人情報の管理についても、適正に管理し、構成員に対しての指導も行われていると認められます。</p>
⑤ その他業務内容について
<p>農業体験を取り入れたもち米の栽培で、収益をあげようと取り組んでいます。「1000 人のファンづくり（木田小ファンズ）」については、四季折々の農産品を送り、年間 1 人 1 万円の会費を得る計画としています。目標に向けて、農産品、山菜などの調達手段を確立し、目標達成することを望みます。</p> <p>木田地区の財産である佐々田家の収蔵品を一部譲り受けて保管・展示しています。見学者への対応も適宜行っており、その価値を広めるように取り組んでいます。引き続き適切な保管、定期的な入替え等を行い、リピーターの確保につなげていけるような取組みを期待します。</p>

※「施設概要及び実績報告書」は別紙のとおり

〔別紙〕

施設概要及び実績報告書

1 施設概要

施設名	浜田市木田暮らしの学校	
所在地	浜田市旭町木田 485 番地	
開設年月	平成 28 年 4 月	
設置条例	浜田市木田暮らしの学校条例	
設置目的	歴史的価値を有する木造校舎を活用し、農業等の地域産業と連携した交流事業を行うことにより、地域コミュニティの発展を図り、もって地域の活性化に資するため。	
施設の概要	敷地面積	7,741.00 m ²
	延床面積	1,692.00 m ²
	施設内容	体育館 校舎 運動場
	事業内容	①地域産業と連携した交流事業 ②地域の文化品等の展示 ③地域食材等を活用した飲食の提供 ④交流、研修等を行うための施設の提供 ⑤その他暮らしの学校の設置の目的を達成するために必要な事業

2 運営実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
開館日数	日	359 日	359 日
開館時間	—	8 : 30 ~ 22 : 00	8 : 30 ~ 22 : 00

3 利用実績

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
延べ利用者数	— 人	500 人	295 人
利用料金収入	— 円	60,000 円	76,050 円
利用件数	— 件	20 件	20 件

4 収支実績

(単位：円)

収入

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
利用料金収入	-	60,000	76,050
指定管理料	-	950,000	950,000
カフェ売上	-	100,000	65,100
体験交流参加料	-	400,000	263,950
イベント売上	-	100,000	371,392
もち米売上	-	0	76,800
木田小ファンズ会費	-	500,000	0
その他補助金	-	0	27,000
収入計 (A)		2,110,000	1,830,292

支出

項目	H27 実績	H28 計画	H28 実績
人件費	-	0	0
給与	-	0	0
社会保険料	-	0	0
管理費	-	1,185,624	1,119,691
消耗品費	-	240,000	166,533
燃料費	-	15,000	3,630
印刷製本費	-	10,000	7,880
光熱費	-	588,000	633,546
修繕料	-	50,000	27,540
通信運搬費	-	60,624	103,995
広告料	-		32,940
委託料	-	90,000	97,200
上下水道料	-	132,000	46,427
イベント・カフェ運営費	-	800,000	581,949
雑費	-	124,376	158,825
支出計 (B)	-	2,110,000	1,860,465

収支差引 (A-B)	-	0	▲30,173
-------------------	---	----------	----------------